



令和 7 年
6月28日(土)
13時30分(13時開場)
白壁ホール
入場無料

となりのユキ

阿部 寛

北村匠海 杏 安田 顕 大島優子

濱田 岳 宇梶剛士 尾美としのり 吉岡睦雄 宇野祥平 木竜麻生 井之脇海 田辺桃子

田中哲司 豊原功補 嶋田久作 村上 淳

磨 赤兒 麻生久美子 / 薬師丸ひろ子

原作：重松 清「となり」(角川文庫刊)

監督：瀬々敬久

脚本：港 岳彦 音楽：村松崇継

主題歌：ゆず「風信子」

当日12時に

白壁ホールにて

整理券を配布

します。

曹华益 右馬一昭 藤本鈴子 永田勝美 石岡裕之 田中裕介 酒井一志 五十嵐淳之 三村千鶴 内田章文 中尾公 小堀範夫 大森知彦
企画プロデュース：伊藤作雄 プロデューサー：天馬少京 ラインプロデューサー：田辺正樹 アソシエイトプロデューサー：中込人
監：高田伸也 美術：磯見俊裕 露木恵美子 装飾：龍田哲児 スクリプター：江口由紀子 編集：早野亮 VFXスーパーバイザー：立石勝
赤松陽輔造 スタylist：岡田春樹 ヘアメイク：小泉尚子 特殊メイク：自武明 キャスティング：梅本竜矢 助監督：海野敦 制作担当：鈴木健太
作：「となり」製作委員会 制作プロダクション：ディグ&フューズ 配給：KADOKAWA イオンエンターテイメント
監督：マツシロ・山田 後援：岡山県 広島県 特別協力：東京観光協会
©2022「となり」製作委員会 2022/日本/カラー/ビスタ/139分 (G)

うきは市男女共同参画映画上映会



不朽の名作、重松 清「とんび」待望の初映画化
阿部 寛 × 北村匠海 新たな“とんびと鷹”で贈る、
いつの世も変わることもない親子の絆を描く“家族の物語”

幾度途切れても必ず繋がってゆく親子の絆を描いた、大ベストセラー小説「とんび」。今この時代にこそ届けたいと、初の映画化が実現。主人公の、破天荒ながら愛すべき父・ヤス役には、『テルマエ・ロマエ』『下町ロケット』などの大ヒット作で、圧巻の表現力と存在感を放つ阿部 寛。ヤスの息子・アキラ役には、若手実力派の中でも突出した才能を発揮する『君の膵臓をたべたい』『東京リベンジャーズ』の北村匠海。多くの深遠な物語をエンターテインメントとして昇華させてきた『64-ロクヨン-』『糸』などの瀬々敬久監督の元に、薬師丸ひろ子、杏、安田顕、大島優子、麻生久美子、他豪華キャストが集結した。さらに、日本中に愛と勇気を与え続けるアーティストゆずにより書き下ろされた主題歌「風信子」が、エンディングを彩る。これは、古き良き時代の物語にとどまらない、新たな時代への希望を予感させる《今、そして未来へ繋がる家族の絆の物語》。

STORY 日本一不器用な男・ヤスは、愛する妻・美佐子の妊娠にも上手く喜びを表せない。幼い頃に両親と離別したヤスにとって、“家族”は何よりの憧れだった。時は昭和37年、瀬戸内海に面した備後市。アキラと名付けた息子のためにも、運送業者で懸命に働くヤスだったが、ようやく手にした幸せは、妻の事故死によって脆くも打ち碎かれる。悲しみに沈むヤスだったが、人情に厚い町の人々に叱咤激励され、彼らの温かな手を借りてアキラを育ててゆく。時は流れ、高校3年生になったアキラは、東京の大学を目指し合格を勝ち取る。だが、別居の寂しさを素直に伝えられないヤスは、「一人前になるまで帰って来るな!」とアキラを突き放す。そして昭和63年、久々に再会したヤスと大人になったアキラだったが――。

<https://movies.kadokawa.co.jp/tonbi/>

[@tonbi_movie](https://twitter.com/tonbi_movie)

うきは市男女共同参画映画上映会

- 日時 令和7年6月28日(土)
- 時間 13時30分(13時開場)
- 場所 うきは市白壁ホール
- お問い合わせ先 うきは市男女共同参画推進室 TEL 0943-77-2661

※混雑回避の為、当日12時に白壁ホールにて整理券を配布します。
※配布は1人4枚までです。